

「後期高齢者医療制度を廃止しよう」と「一揆コール」をする参加者＝8日、長野県千曲市



後期高齢者医療制度

姨捨山に捨てたい

長野・一揆集会

「現代版姥(うば)捨て山」といわれる後期高齢者医療制度。その廃止法案を成立させようと、長野県千曲市にある姨(おば)捨山で8日、「怒りの一揆」集会が開かれ、持病を抱えながらも元気あふれる高齢者を中心に県内各地から三百五十人が、千曲川と善光寺平を一望できる会場まで登り、狼煙(のろし)の花火とともに威勢よく「後期高齢者医療制度を廃止しよう」と「一揆コール」をしました。

「姨捨山にこの医療制度を捨てていきたい」と東京からきた全日本年金者組合の岡田勲副中央執行委員長。「廃止法案を衆議院でまじつと審議させ成立させよう」と「全国保険医団体連合会の住江憲男会長は「あらゆる団体、個人を結集し政府与党を追い詰める」

集会実行委員長の山口光昭さんは「国会未までの一週間が正念場。がんばろう」と訴えました。姨捨山に室町時代、創建されたという長楽寺の住職・佐野昇純さんが「集会がここで開かれたことに感謝します」とあいさつしました。佐野住職は「姥捨伝説は本来お年寄

りを大切にすること、指摘。年寄りの知恵が難を救い、「年寄りをてはならぬ」とおふがでたといいます。

姨捨山のふもとで生れ育った日本共産党の村京子県議は「お年寄りを大事にする姨捨の廃止に向けさらに運

神奈川・茅ヶ崎 4野党が共同街頭演説 廃止法案せひ

枠にして医療から切りすことは許されませんとのべました。
岩本氏は「廃止法案衆議院で審議されないこのまま廃案にされてまうことがあってはなりません」。吉川氏は「お寄りに安心して暮らせ社会を提供するのが国や私たちの役割ではないでしょうか」と語りました。

後期高齢者医療制度の廃止を求める日本共産党、民主党、社民党、国民新党の四野党共同の街頭演説会が8日、海風の香る茅ヶ崎市で行われました。茅ヶ崎駅

日本共産党の、はた君枝衆院南関東比例、一脇たくや衆院神奈川15両候補もリレー演説に

栃木でも不

加入手続